

### 鹿ノ又沢支流口の沢(仮称)

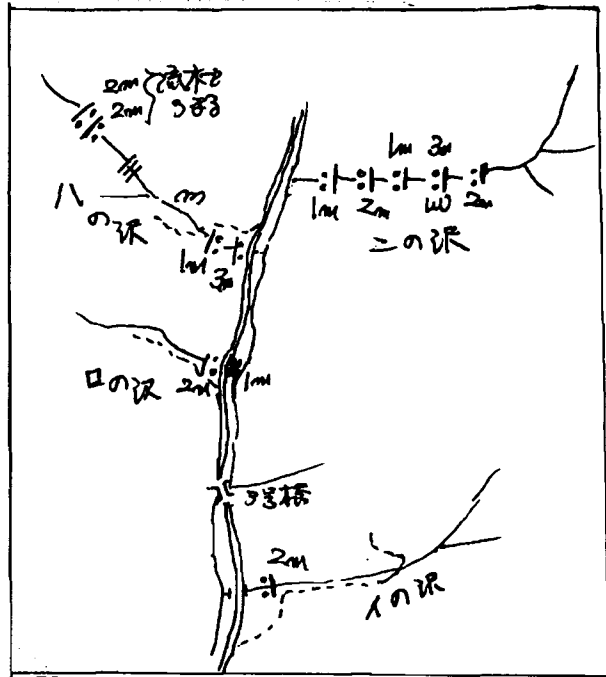
1991年5月18日

口の沢(仮称)は、林道のすぐわきに小滝をかける。はじめから沢の規模は小さい。おまけに出だしは腐りかけた流木の山との戦いである。うっかりしていると、ズッポリ足を突っ込んでしまう。伐採した時の残渣のようである。

流木の山を乗り越えると、今度はブッシュとの戦いである。強引に突破するしかない。とにかく前へ前へと進む。ようやくブッシュ

帯を抜け出した時には、沢はもう細いミゾ状の流れとなっていた。それを未練がましく更に15分程遡って、遡行終了とする。 ( )

[タイム] 口の沢出合(7:00)→終了(7:30)



### 鹿ノ又沢支流ハの沢(仮称)

1991年5月18日

ハの沢(仮称)は、出だしに小滝を2つかけている。これを越えると、あとはもう細い流れでしかない。それでも更に暗い樹林帯の中を進む。やがて流木の山に出合う。これも伐採の時の残渣のようである。乗るとすぐ折れて、足をとられるので、やっかいである。ここを突破すると、すぐ若い造林地となり、沢の流れは流木の下に消えていた。 (語)

[タイム] ハの沢出合(7:45)→終了(8:00)